

北海道おもてなしハンドブック 活用の手引



(表紙は小学校3・4年生用)

北海道教育庁学校教育局義務教育課

目次

- はじめに

- 「北海道おもてなしハンドブック」の活用の仕方について・・・P 3

- 「北海道おもてなしハンドブック」活用例
 - 1 小学校1・2年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
 - 2 小学校3・4年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 9
 - 3 小学校5・6年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14
 - 4 中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P19

- 「北海道おもてなしハンドブック」実践例・・・・・・・・P24

はじめに

北海道教育委員会では、本道の道德教育の一層の向上を図ることを目的とした「道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を実施し、その取組の一つとして北海道の特色を生かした道德教育の教材の開発に取り組んでまいりました。

平成27年3月には、各学校における道德教育の充実の一助として、本道の児童生徒が、「あいさつ・礼儀」「思いやり」「私たちのふるさと」について自ら考えたことを書き込んだり、話し合ったりすることなどを通して、おもてなしの心を育むことができるよう、北海道版道德教材「北海道おもてなしハンドブック」を作成し、道内の公立小・中学校、特別支援学校小学部・中学部の全ての児童生徒に配布したところです。

このたび、各学校において「北海道おもてなしハンドブック」が効果的に活用され、本道の児童生徒により一層おもてなしの心が育まれるよう、活用場面の例や実践事例を掲載した「北海道おもてなしハンドブック活用の手引」を作成しました。

各学校においては、本手引を参考に「北海道おもてなしハンドブック」を道德の時間や学級活動等の学校での教育活動はもとより、家庭や地域においても積極的に活用いただくようお願い申し上げます。

平成28年3月

北海道教育庁学校教育局義務教育課

活用の仕方について

～手引の見方～

当該のページの内容項目に関する指導の留意点などを示しています。

「道徳の時間」「各教科等」「家庭や地域との連携」における活用例を示しています。

道内の学校が本ページを活用して実践した学習指導案、板書、児童生徒の様子、成果等を紹介しています。

文部科学省が配付している「私たちの道徳」との関連を図った効果的な指導の例を紹介しています。

◆あいさつ・礼儀 (P 2～5) ◆



1 指導の留意点

第1学年及び第2学年においては、日常生活を送るために欠かせない基本的な挨拶などについて、具体的な状況の下での体験を通して実感的に理解を深めさせることが大切です。
また、外出時や公共の場での振る舞い方など社会との関わりの中での礼儀についても考えさせることが大切です。
「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目 9「礼儀」 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。
・導入や展開後半で、挨拶をしている時の気持ちについて考える際、P2の【書き込み】などを活用する。
・終末で、挨拶をして笑顔になったことについて考える際、P3の【書き込み】などを活用する。

各教科等

- 「生活」内容(3) 地域と生活
・町探検などで、様々な人々との接し方について考える際、P4の【ポイント】や【ヒント】などを活用する。
- 「特別活動(学級活動)」内容(2)イ 基本的な生活習慣の形成
・本時の活動で、挨拶の意義などについて考える際、P2の【ポイント】などを活用する。

家庭や地域との連携

- ・家庭で、気持ちのよい挨拶について子どもと話し合うよう、学級通信等にP2の【書き込み】を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P5の【書き込み】に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「わたしたちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】
「わたしたちの道徳」P58【あいさつの木をそだてていきましょう】に、自分の日頃の挨拶の様子について考えたことを書き込む際、「おもてなしハンドブック」P2、3も活用する。

小学校 1・2 年

◆あいさつ・礼儀（P 2～5）◆

1 指導の留意点

第1学年及び第2学年においては、日常生活を送るために欠かせない基本的な挨拶などについて、具体的な状況の下での体験を通して実感的に理解を深めさせることが大切です。

また、外出時や公共の場での振る舞い方など社会との関わりの中での礼儀についても考えさせることが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目 9「礼儀」 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。
 - ・導入や展開後半で、挨拶をしている時の気持ちについて考える際、P 2の〔書き込み〕などを活用する。

P 26 砂川市立空知太小学校の実践参照

- ・終末で、挨拶をして笑顔になったことについて考える際、P 3の〔書き込み〕などを活用する。

各教科等

- 「生活」内容(3) 地域と生活
 - ・町探検などで、様々な人々との接し方について考える際、P 4の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。
- 「特別活動（学級活動）」内容(2)イ 基本的な生活習慣の形成
 - ・本時の活動で、挨拶の意義などについて考える際、P 2の〔ポイント〕などを活用する。

家庭や地域との連携

- ・家庭で、気持ちのよい挨拶について子どもと話し合うよう、学級通信等にP 2の〔書き込み〕を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P 5の〔書き込み〕に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「わたしたちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「わたしたちの道徳」P 56〔あいさつの木をそだてていきましょう〕に、自分の日頃の挨拶の様子について考えたことを書き込む際、「おもてなしハンドブック」P 2、3も活用する。

◆思いやり (P 6～9) ◆

思いやり わたしたちの道徳 P6～73

思いやりの心を伝えよう

わたしたちは、家族でもちろんと助け合っています。自分も周りの人の心も大切にしよう。思いやりの心を伝えよう。

思いやりの心を伝えるには

お礼よりには
どんなことができますか？

年下の子には
どんなことができますか？

隣の人々には
どんなことができますか？

思いやりの心を伝えるには

ことばで
なげいもうた
そばにいる。

ひょうじょうで
お礼のうた
あがが

たいどで
お礼のうた
いつしよにをせう!

こうどうで
いぬ、わんぱく
で遊ぶこと

「こんなときどうしますか？」①
[高卒の手が、おたははは、わたっています。家の又は、いはいです。]

あなたならどうしますか。自分の考えを書きましょう。

名前 (姓名) _____
名前 (名) _____

自分の手に思いやりの心で書いたことを。

名前	思いやりに思いやりの心で書いたこと

「こんなときどうしますか？」②
[商物をもたおまははは、階段があつてないへんせうです。]

あなたならどうしますか。自分の考えを書きましょう。

名前 (姓名) _____
名前 (名) _____

おまはははに思いやりの心で書いたことを書きましよう。

名前	おまはははに思いやりの心で書いたこと

「こんなときどうしますか？」③
[こえんで、いっている男の子がいます。]

あなたならどうしますか。自分の考えを書きましょう。

名前 (姓名) _____
名前 (名) _____

アツている人に思いやりの心で書いたことを書きましよう。

名前	アツている人に思いやりの心で書いたこと

1 指導の留意点

第1学年及び第2学年においては、幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにすることが大切です。また、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、具体的に親切な行為ができるようにすることが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目7「親切、思いやり」 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。
 - ・導入で、思いやりのある行動について考える際、P 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。
 - ・展開後半で、思いやりのある行動について考える際、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。

P 25 遠別町立遠別小学校の実践参照

各教科等

- 「生活」内容(9) 自分の成長
 - ・自分自身の成長について考える際、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。
- 「特別活動(学級活動)」内容(2)ウ 望ましい人間関係の形成
 - ・本時の活動で、思いやりのある行動について考える際、P 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。

P 27 伊達市立伊達小学校の実践参照

家庭や地域との連携

- ・家庭で、思いやりの心などについて子どもと話し合うよう、学級通信等にP 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P 7～9の〔書き込み〕に子どもの思いやりのある行動について書き留めておくよう、学級通信等で働きかける。

【「わたしたちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「わたしたちの道徳」P 66「あたたかい心をみんなにとどけましょう」に、親切な行動等について考えたことを書き込む際、「おもてなしハンドブック」P 7～9も活用する。

◆私たちのふるさと（P10～12）◆

わたしたちのふるさと わたしたちの道徳 P10～12

ふるさとのよさを伝えよう

北海道の豊かな自然は、とても美しいです。そのため、世界中から多くの人が訪れています。このよさを伝えるには、北海道のよさを伝えていく必要があります。

北海道にきた人のお話

「昔から北海道で、お祭りやお祭りがあつたことがあつた。北海道のよさを伝えていくことがあつた。北海道のよさを伝えていくことがあつた。北海道のよさを伝えていくことがあつた。」

自分が住んでいるまちのよさを伝えよう。

自分が住んでいるまちのよさを伝えていくためにできることを書きましよう。

北海道のよさを見つけよう

北海道には自然のほかにも、たくさんできる多くのよさがあります。多くのよさを伝えることがあつた。北海道のよさを伝えていく必要があります。

世界遺産 旭岳早湯 （北海道にあるよさ）

「旭岳」はその自然の美しさが認められ、平成17年7月、世界自然遺産に登録されました。「旭岳」では、活火山の眺めによって、いろいろな種類の動物が生活しています。

北海道に生息するヒグマ （北海道にあるよさ）

旭岳では、熊の一種は、高くて木が少なくてアザラシなどに食べられます。また、耳毛のほたるが、マスは、熊に食べられるように食べられます。このよさを伝えるには、熊の生活が大切です。

「イタナカチ」とは

この言葉は、アイヌの言葉で、「こころ」の意味です。「あなたにこころをこめてお話しします」といふ意味です。北海道のよさを伝えるには、この言葉が大切です。



アイヌのアイヌの民族衣装を着た人 （北海道にあるよさ）



北方領土の美しい風景 （北海道にあるよさ）



ホタルの写真を撮る人 （北海道にあるよさ）



観光した観光客の笑顔 （北海道にあるよさ）

「北海道のよさを伝えるには、多くのよさを伝えていく必要があります。多くのよさを伝えるには、多くのよさを伝えていく必要があります。多くのよさを伝えるには、多くのよさを伝えていく必要があります。」

（北海道にあるよさ）

1 指導の留意点

第1学年及び第2学年においては、児童が住む町の身近な自然や文化などに直接触れる機会を増やしたり、そこに携わる人々との触れ合いを深めたりすることで国や郷土への愛着を深め、親しみをもって生活できるようにすることが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- **内容項目17「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。**
 - ・導入や展開後半で、身近な自然や文化などについて考える際、P10上の〔書き込み〕などを活用する。 P29 小清水町立小清水小学校の実践参照
 - ・展開後半で、自分が住んでいるまちのためにできることについて考える際、P10下の〔書き込み〕などを活用する。

各教科等

- **「生活」内容(3)地域と生活**
 - ・町探検などで、地域の人々と接したり、様々な場所を調べたりしたことについて考える際、P10上の〔書き込み〕などを活用する。 P28 羅臼町立羅臼小学校の実践参照
- **「生活」内容(4)公共物や公共施設の利用**
 - ・公共物や公共施設を大切に利用することについて考える際、P10下の〔書き込み〕などを活用する。

家庭や地域との連携

- ・P11、12の〔写真〕や〔吹き出し〕などを子どもと一緒に読むよう、働きかける。
- ・地域行事などで、子どもが他の地域の人々と交流する際、P10上の〔書き込み〕に書いたことを紹介するよう、働きかける。

【「わたしたちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「わたしたちの道徳」P152〔あなたの町を紹介する新聞を作りましよう〕に、町の特徴について考えたことを書き込む際、「おもてなしハンドブック」P10も活用する。

◆「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう（P13）◆

「おもてなしハンドブック」を使って学んだことを書きましょう。

1年生

○ 学んだこと

○ 家の人から

2年生

○ 学んだこと

○ 家の人から

1 指導の留意点

このページは、「おもてなしの心」について考えたり、話し合ったりしたことを振り返るページです。

自己の生き方を深く考えることができるよう、計画的に書き込ませるとともに、自己の成長を実感することができるよう、書いたことを振り返る機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・導入や終末で、自己の成長を振り返る際、活用する。

各教科等

- ・特別活動等で、「挨拶・礼儀」「思いやり」「ふるさと」について学習したことを振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・保護者に、子どもの頑張りを認める内容などを記入していただく。

◆自分の生活をふりかえってみましょう（P14）◆

自分の生活をふりかえってみましょう

○～よくできた △～だいたいできた ×～あまりできなかった

項目	チェックポイント	1年	2年
あいさつ	家族やともだち、地域の人に気持ちのよいあいさつをしていますか。		
	家族やともだち、地域の人にえがおであいさつをしていますか。		
れいぎ	時間を守っていますか。		
	相手の話を最後まで聞いていますか。		
	せりせいとんをしていますか。		
	マナーに気をつけて食事をしていますか。		
思いやり	ていねいな言葉づかいをしていますか。		
	まわりの人にやさしく、親切にしていますか。		
私たちのふるさと	自分のまちのよさを見つけ、伝えていいますか。		

小学校 1年 組 2年 組

名前 _____

1 指導の留意点

このページは、「挨拶・礼儀」「思いやり」「私たちのふるさと」などの観点で、自分の行動などを振り返るページです。

自己の成長を実感することができるよう、定期的に自己評価する機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・導入や終末で、自分の行動などを振り返る際、活用する。

各教科等

- ・特別活動（学級活動）の基本的な生活習慣の形成に関する学習で、自分の行動を振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・保護者懇談会等で、「おもてなしハンドブック」を持ち寄り、このページを見ながら子どもの成長等を確認する。

小学校 3・4 年

◆あいさつ・礼儀（P 2～5）◆

1 指導の留意点

第3学年及び第4学年においては、気の合う友達同士で仲間集団をつくる傾向が見られるため、誰に対しても真心をもって接する態度を育てるようにすることが大切です。
また、家庭や地域社会での日常の挨拶、学習や給食の際の態度、校外学習など見学先での振る舞いなどについて考えさせることが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目9「礼儀」 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。
 - ・導入や展開後半で、挨拶をしている時の気持ちについて考える際、P 2の〔書き込み〕などを活用する。
P35 室蘭市立本室蘭小学校の実践参照
 - ・終末で、教師が挨拶について説話を行う際、P 3の〔写真〕やP 4の〔ヒント〕などを活用する。

各教科等

- 「特別活動（学級活動）」内容(2)イ 基本的な生活習慣の形成
 - ・本時の活動で、挨拶の意義について考える際、P 3やP 4の〔ポイント〕などを活用する。
P33 中富良野町立旭中小学校の実践参照
- 「総合的な学習の時間」 地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動
 - ・単元の導入で、日本人としての礼儀正しいふるまいや行動について考える際、P 4の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。

家庭や地域との連携

- ・家庭で、挨拶の大切さについて子どもと話し合うよう、学級通信等にP 2の〔書き込み〕を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P 5の〔書き込み〕に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「わたしたちの道徳」P59〔礼儀名人を目指そう〕に、礼儀について考えたり、振り返ったりしたことを書き込む際、「おもてなしハンドブック」P 4、5も活用する。

◆思いやり（P 6～9）◆

1 指導の留意点

第3学年及び第4学年においては、相手の置かれている状況、困っていること、大変な思いをしていること、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することによって相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことができるようにしていくことが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目7「親切、思いやり」 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
 - ・導入で、思いやりのある行動について考える際、P 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。
 - ・展開後半で、思いやりのある行動について考える際、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。

P32 士別市立士別南小学校の実践参照

各教科等

- 「総合的な学習の時間」 国際理解、福祉などの横断的・総合的な課題についての学習活動
 - ・社会体験、見学、調査、交流などの学習活動で、他者との関わりについて考える際、P 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。
- 「特別活動（学級活動）」内容(2)ウ 望ましい人間関係の形成
 - ・本時の活動で、思いやりのある行動について考える際、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。

P30 千歳市立千歳小学校の実践参照

家庭や地域との連携

- ・家庭で、相手に対する思いやりについて子どもと話し合うよう、学級通信等でP 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P 7～9の〔書き込み〕に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「わたしたちの道徳」P62「思いやりの心とは、どのような心でしょう」で、思いやりの心について考える際、「おもてなしハンドブック」P 6も活用する。

◆私たちのふるさと（P10～12）◆

私たちのふるさと

私たちの道徳 P10～12

ふるさとのよさを伝えよう

北海道の豊かな自然は、世界的に有名です。そのため、世界中から多くの人たちが観光に訪れています。このような人々に会話を始める機会では、北海道のよさを伝えたいです。

観光客の体験

「観光客の皆さん、北海道の自然のよさを伝えてあげてください。自分たちが大切に思っている自然や文化を、観光客の皆さんにも伝えてあげたいです。」

「あなたに伝えたい自分の住んでいる地域や北海道のよさについて書きましょう。」

「あなたが地域のよさを守ってみたいのにできることを書きましょう。」

北海道のよさを見つけてみましょう

北海道には自然のほかに、伝統や文化、産業など多くの魅力があります。多くのの人に伝えることができます。北海道のよさを見つけてみましょう。

世界遺産 知床半島 (北海道のよさ)

「知床」はその自然の美しさが認められ、平成17年7月、世界自然遺産に登録されました。「知床」では、自然の恵みによって、いろいろな種類の動植物が生息しています。

北海道に生息するヒグマ (北海道のよさ)

「知床」では、熊の一種は、毎年7月～9月のアサシロク山などに出没しています。また、川をさかのぼるクマ、マスは、熊に襲われるヒグマなどに襲われます。このように知床の熊、川、熊はつながっています。

「イタンカラナチ」とは

この言葉は、アイヌの人たちのあいさつで、「こんにちは」の意味です。
「あなたのために喜んでおられますか。」というあなたへの思いが込められています。北海道のおもてなしの言葉として使われています。



アイヌの人々の伝統的な家屋「ムツク」 (北海道のよさ)



北海道の美しい自然 (北海道のよさ)



ホタルのすみかをつくる活動 (北海道のよさ)



観光客と観光客の交流 (北海道のよさ)

「音、言語や言葉の明にはたくさんの力があります。但し、同じ言葉でも、使う人や使う場所、使われる状況によって、異なる意味や感情が生まれます。そこで、「この言葉を使う人によって、異なる意味や感情が生まれます。使われる状況によって、異なる意味や感情が生まれます。」 (「おもてなし」P12)

1 指導の留意点

第3学年及び第4学年においては、地域の人々や生活、伝統、文化に親しみ、それを大切にするを通して、郷土を愛することについて考えさせ、地域に積極的に関わろうとする態度を育てることが大切です。

また、様々な活動を通して我が国の伝統と文化に関心をもち、これらに親しむ気持ちを育てることが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

○ 内容項目17「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。

・導入で、身近な自然や文化などについて考える際、P10上の〔書き込み〕などを活用する。

・導入や展開後半で、自分が住んでいる町のよさや町のためにできることについて考える際、P10下段の〔書き込み〕などを活用する。

P34 根室市立北斗小学校の実践参照

各教科等

○ 「社会」 第3、4学年内容(6)ウ県(都・道・府)内の特色ある地域の様子

工人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

・地域の特色を調べる活動で、地域の人々と接したり、様々な場所を調べたりしたことについて考える際、P10の〔書き込み〕などを活用する。

P31 函館市立中の沢小学校の実践参照

○ 「総合的な学習の時間」 環境などの横断的・総合的な課題についての学習活動

・単元の導入で、身近な自然環境について考える際、P11、12の〔写真〕や〔吹き出し〕を活用する。

家庭や地域との連携

・P11、12の〔写真〕や〔吹き出し〕などを子どもと一緒に読むよう、働きかける。

・地域行事などで、子どもが他の地域の人々と交流する際、P10上の〔書き込み〕に書いたことを紹介するよう、働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「わたしたちの道徳」P158〔わたしたちの心を育ててくれるふるさと〕で、北海道のよさについて考える際、「おもてなしハンドブック」P11、12も活用する。

◆ 「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう（P13） ◆

「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう。

3年生

○ 学んだこと

○ 家の人から

4年生

○ 学んだこと

○ 家の人から

1 指導の留意点

このページは、「おもてなしの心」について考えたり、話し合ったりしたことを振り返るページです。
 自己の生き方を深く考えることができるよう、計画的に書き込ませるとともに、自己の成長を実感することができるよう、書いたことを振り返る機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・導入や終末で、自己の成長を振り返る際、活用する。

各教科等

- ・特別活動等で、「挨拶・礼儀」「思いやり」「ふるさと」について学習したことを振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・保護者に、子どもの頑張りを認める内容などを記入していただく。

◆ 自分の生活をふりかえってみましょう（P14） ◆

自分の生活をふりかえってみましょう

○～よくできた △～だいたいできた ×～あまりできなかった

項目	チェックポイント	3年	4年
あいさつ	家族や友だち、地域の人に気持ちのよいあいさつをしていますか。		
	家族や友だち、地域の人に笑顔で接していますか。		
マナー	時間を守っていますか。		
	相手の話を最後まで聞いていますか。		
	身だしなみを整えていますか。		
	マナーに気を付けて食事をしていますか。		
思いやり	相手を敬うときにふさわしい言葉づかいをしていますか。		
	だれに対しても思いやりの心をもって接していますか。		
私たちのふるさと	自分の地域のよさを見つけ、伝えていきますか。		
	北海道のよさを見つけ、伝えていきますか。		

小学校 3年 組 4年 組

名前 _____

1 指導の留意点

このページは、「挨拶・礼儀」「思いやり」「私たちのふるさと」などの観点で、自分の行動などを振り返るページです。
 自己の成長を実感することができるよう、定期的な自己評価する機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・導入や終末で、自分の行動などを振り返る際、活用する。

各教科等

- ・特別活動（学級活動）の基本的な生活習慣の形成に関する学習で、自分の行動を振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・保護者懇談会等で、「おもてなしハンドブック」を持ち寄り、このページを見ながら子どもの成長等を確認する。

小学校 5・6 年

◆思いやり（P 6～9）◆

1 指導の留意点

第5学年及び第6学年においては、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えることが大切です。

また、人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を、児童が接する全ての人に広げていくことが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

○ 内容項目7「親切、思いやり」 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。

・展開後半で、思いやりの心について考える際、P 6の〔ヒント〕や〔ポイント〕などを活用する。

P 38 木古内町立木古内小学校の実践参照

・展開後半で、困った人を見かけたときの言動について考える際、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。

各教科等

○ 「外国語活動」内容1(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

・導入で、困っている人への応対について考える際、P 7の〔書き込み〕などを活用する。

P 40 中標津町立計根別学園小学部の実践参照

○ 「特別活動（学級活動）」内容(2)ウ 望ましい人間関係の形成

・展開で、相手の立場に立って考える大切さについて考える際、P 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。

家庭や地域との連携

・家庭で、相手の立場に立つことについて子どもと話し合うよう、P 6の〔ポイント〕を紹介するなどして働きかける。

・家庭で、P 7～9の〔書き込み〕に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「私たちの道徳」P63 [「思い」は見えないけれど、いろいろな形で伝えられる] で、相手の立場に立った接し方について考える際、「おもてなしハンドブック」P 6も活用する。

◆私たちのふるさと（P10～12）◆

私たちのふるさと

ふるさとのよさを伝えよう

北海道の雄大な自然は、世界的に有名です。そのため、世界中から多くの人たちが観光に訪れています。このように人たちに伝えている場所では、北海道のよさをたくさん知っていただきたいと思います。

観光客のお話

「旅行から帰って、観光の小学生の皆さんが笑顔で話しかけてくれたのがとても嬉しかったです。北海道の自然は本当に美しく教えてくれたので、この話を友達に話してみたいです。」

訪れた人に伝えたい自分の住んでいる地域や北海道のよさについて書きましょう。

あなたが地域のよさを守っていかねばならないことを書きましょう。

北海道のよさを見つけてみましょう

北海道には自然のよさ以外にも、伝統や文化、産業など多くの魅力があります。多くのの人たちに伝えることができます。北海道のよさを見つけてみましょう。

世界遺産 知床半島（国定公園）

「知床」はその自然の豊かさが認められ、1992年（平成4年）、世界自然遺産に登録されました。「知床」では、流氷の眺みによって、いろいろな種類の動物が生息しています。

北海道に生息するヒグマ（国定公園）

知床では、熊の一種は、常に羊や鹿やアザラシ・トドなどに襲われます。また、川をさかのぼるワケ・マスは、森にすむ熊の餌食になります。このように知床の森、川、海はつながっています。

「イタシカラナチ」とは

この言葉は、アイヌの人たちのあいさつで、「こんにちは」の意味です。

「あなたのために喜んでお仕事をさせていただきます。」というあなたらしい思いが込められています。北海道のおもてなしの言葉を覚えてみましょう。



アイヌの人たちの伝統的な楽器「ムツツ」



北海道の自然の豊かさを表す風景



熊の姿



川をさかのぼるワケ・マス

昔、道庁を築く時にはたくさんの木を植えました。木のよさなどにより、おたらのぎは少しずつ見られなくなりました。そこで、「この町をおたらのぎにしよう」と思い立ち、きれいな町を築くことにしました。

ねじり機（ソーラー）で紙を製する工場。今ではたくさんのおたらのぎが、きれいで、皆さんに愛用されています。

（「おたらのぎ」の町、道庁）（はあふるる・212頁）

1 指導の留意点

第5学年及び第6学年においては、機会を捉えて我が国の伝統や文化などを話題にしたり、直接的に触れたりする機会を増やすことを通してそのよさについて理解を深めることが大切です。また、伝統や文化を育んできた我が国や郷土を受け継ぎ発展させていくべき責務があることを自覚し、努めていこうとする心構えを育てることが大切です。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目17「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。
 - ・導入で、北海道の文化や自然のよさなどを考える際、P11の〔写真〕や〔吹き出し〕などを活用する。
 - ・終末で、郷土のよさについて考える際、P10の〔書き込み〕などを活用する。

P36 倶知安町立倶知安小学校の実践参照

各教科等

- 「社会」第6学年内容(3)ア 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子
 - ・我が国とつながりが深い国の人々の生活の様子を調べる活動で、地域や北海道のよさについて考える際、P10の〔写真〕や〔吹き出し〕、〔書き込み〕などを活用する。
- 「総合的な学習の時間」 地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動
 - ・地域の伝統と文化などに関する学習内容で、郷土や我が国の伝統と文化の継承、発展について考える際、P11、12の〔写真〕や〔吹き出し〕、〔書き込み〕などを活用する。

家庭や地域との連携

- ・家庭で、地域や北海道のよさ、地域の発展に尽くした先人の業績などについて子どもと話し合うよう、学級通信等でP11、12の〔写真〕や〔吹き出し〕などを紹介するなどして働きかける。
- ・地域行事などで、子どもが他の地域の人々と交流する際、P10上の〔書き込み〕に書いたことを紹介するよう働きかける。

P39 名寄市立名寄小学校の実践参照

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「私たちの道徳」P164〔郷土や国を愛する心を〕で、郷土のよさや特色について考える際、「おもてなしハンドブック」P11、12も活用する。

◆ 「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう（P13） ◆

「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう。

5年生

○ 学んだこと

○ 家の人から

6年生

○ 学んだこと

○ 家の人から

1 指導の留意点

このページは、「おもてなしの心」について考えたり、話し合ったりしたことを振り返るページです。
 自己の生き方を深く考えることができるよう、計画的に書き込ませるとともに、自己の成長を実感することができるよう、書いたことを振り返る機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・ 導入や終末で、自己の成長を振り返る際、活用する。

各教科等

- ・ 特別活動等で、「挨拶・礼儀」「思いやり」「ふるさと」について学習したことを振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・ 保護者に、子どもの頑張りを認める内容などを記入していただく。

◆ 自分の生活をふりかえってみましょう（P14） ◆

自分の生活を振り返ってみましょう

○～よくできた △～だいたいできた ×～あまりできなかった

項目	チェックポイント	5年	6年
あいさつ	家族や友だち、地域の人に気持ちのよいあいさつをしていますか。		
	家族や友だち、地域の人に笑顔で接していますか。		
礼儀	時間を守っていますか。		
	相手の話を最後まで聞いていますか。		
	身だしなみを整えていますか。		
	マナーに気を付けて食事をしていますか。		
思いやり	相手を敬うときにふさわしい言葉づかいをしていますか。		
	だれに対しても思いやりの心をもって接していますか。		
私たちのふるさと	相手の立場に立って思いやりの心を伝えていますか。		
	自分の地域のよさを見つけ、伝えていますか。		
	北海道のよさを見つけ、伝えていますか。		

小学校 5年 組 6年 組

名前 _____

1 指導の留意点

このページは、「挨拶・礼儀」「思いやり」「私たちのふるさと」などの観点で、自分の行動などを振り返るページです。
 自己の成長を実感することができるよう、定期的に自己評価する機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・ 導入や終末で、自分の行動などを振り返る際、活用する。

各教科等

- ・ 特別活動（学級活動）の基本的な生活習慣の形成に関する学習で、自分の行動を振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・ 保護者懇談会等で、「おもてなしハンドブック」を持ち寄り、このページを見ながら子どもの成長等を確認する。

中 学 校

◆あいさつ・礼儀（P 2～5）◆

1 指導の留意点

中学校においては、日常生活において、時と場に応じた適切な言動を体験的に学習するとともに、形の根底に流れる礼儀の意義を深く理解できるようにすることが大切です。

また、他国の礼儀についても理解を深め、他国の人々に気持ちよく接することができるようにすることが大切です。

「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目7「礼儀」 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。
 - ・展開前半で、毎日の挨拶について考える際、P 2の〔書き込み〕などを活用する。

P 42 帯広市立帯広第八中学校の実践参照

P 44 岩見沢市立東光中学校の実践参照

- ・導入や展開後半で、人間生活や社会生活を円滑にする礼儀について考える際、P 3の〔書き込み〕などを活用する。

P 51 白老町立白老中学校の実践参照

各教科等

- 「技術・家庭（家庭分野）」内容A(2)イ 家庭と家族関係
 - ・導入で、よりよい人間関係を築くための気持ちのよい挨拶について考える際、P 2の〔書き込み〕などを活用する。
- 「総合的な学習の時間」 地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動
 - ・導入で、日本人の礼儀について考える際、P 4の〔ポイント〕や〔ヒント〕、〔書き込み〕などを活用する。

P 50 稚内市立稚内南中学校の実践参

家庭や地域との連携

- ・家庭で、挨拶の意義について子どもと話し合うよう、学級通信等にP 2の〔書き込み〕を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P 5の〔書き込み〕に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「私たちの道徳」P 50〔礼儀の意義を理解し適切な言動を〕で、礼儀の意義などについて考える際、「おもてなしハンドブック」P 4も活用する。

◆思いやり（P 6～9）◆

1 指導の留意点

中学校においては、単に思いやりの大切さに気付かせるだけでなく、根本において自分も他者も、共にかけがえのない存在であるということをしっかり自覚できるようにすることが大切です。

また、互いに支え合う経験を積みながら、温かい人間愛の精神に基づく体験の機会を生かし、人間として生きることの喜びを見だし、思いやりと感謝の心と態度が育むことが大切です。

「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目6「思いやり、感謝」 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

・展開後半で、思いやりを行動等について考える際、P 7～9の〔書き込み〕などを活用する。

P 43 羽幌町立羽幌中学校の実践参照

・展開後半で、他者の立場を尊重し、能動的に接しようとする態度を育成する際、P 9の〔書き込み〕などを活用する。

P 47 網走市立第一中学校の実践参照

各教科等

- 「国語」第2学年〔B書くこと〕イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。

・展開で、自分の気持ちを相手に伝えることの大切さについて考える際、P 7～9の〔書き込み〕を活用する。

P 45 千歳市立向陽台中学校の実践参照

- 「総合的な学習の時間」 福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動

・整理・分析で、思いやりの心をつたえるポイントについて考える際、P 6の〔ポイント〕や〔ヒント〕などを活用する。

P 49 北斗市立大野中学校の実践参照

家庭や地域との連携

- ・家庭で、相手の立場に立つことについて子どもと話し合うよう、学級通信等にP 6の〔ポイント〕を紹介するなどして働きかける。
- ・家庭で、P 7～9の〔書き込み〕に記入する内容を子どもと一緒に考えるよう、学級通信等で働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「私たちの道徳」P 55「思いやりって……なんだろう？」で、相手の立場を尊重する大切さを考える際、「おもてなしハンドブック」P 6も活用する。

◆私たちのふるさと（P10～12）◆

私たちのふるさと

ふるさとのよさを伝えよう

北海道の雄大な自然は、世界的に有名です。そのため、世界中から多くの人たちが観光に訪れています。このような人たちに会話を始める機会では、北海道のよさを伝えたいのではないでしょうか。

観光客のお話

「前からゆめ館で、観光ののぼりの観光客の笑顔で楽しませてくれてありがたなかなりました。観光のゆめ館でも詳しく教えてくれたので、この地がもっと好きになりました。」

訪れた人に伝えたい自分の住んでいる地域や北海道のよさについて書きましょう。

あなたが地域のよさを守っていかねばならないことを書きましょう。

北海道のよさを見つけよう

北海道には自然のほかにも、伝統や文化、産業など多くの魅力があります。多くのの人に伝えることができるよう、北海道のよさを見つけよう。

世界遺産 知床半島（ほあとのあるよさ）

「知床」はその自然の豊かさが認められ、1992年、世界自然遺産に登録されました。「知床」では、漁業の恵みによって、いろいろな種類の動物植物が生き生きとしています。

北海道に生息するヒグマ（ほあとのあるよさ）

知床では、熊の一種、高にすむ熊のアライグマと安全に暮らせます。また、川をさかのぼるクマ、マスは、森にすむ熊のヒグマと違って、川をさかのぼる。このような特徴によって知床の熊、川、森はつながっています。

「イナカラナチ」とは

この言葉は、アイヌの人たちのあいだで、「こゝには」との意味です。
「あなたのために、これを見せていただきます。」というあたたかい思いが込められています。北海道のおもてなしの心を言葉にしよう。



アイヌの人たちの伝統的な家屋「ムツツ」
（ほあとのあるよさ）



北海道の自然の豊かさを表す風景
（ほあとのあるよさ）



洞窟の入り口の風景
（ほあとのあるよさ）



観光客が観光客の笑顔で楽しんでいる様子
（ほあとのあるよさ）

道庁の町長は、山裡に暮らす山アライグマに遭遇し、ワインベリという夢のふるさとを思い出すことができた。町では、山裡でも暮らすアライグマの調査・研究を続けてきた。その後、ワインベリに暮らすアライグマの調査・研究に成功し、今や道庁は「アライグマ」の町となった。

（『風の丘に夢をかける』（ほあとのあるよさ・212頁））

1 指導の留意点

中学校においては、地域の人々との人間関係を問い直したり、地域社会の実態を把握させたりして、郷土に対する認識を深め、郷土を愛しその発展に努めようとする実践意欲と態度を育てることが大切です。

また、地域社会に尽くし、自己の人生を大切に生きてきた先人や高齢者などの先達への尊敬と感謝の気持ちを育むことが大切です。

「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」

2 活用場面例

道徳の時間

- 内容項目16「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

・展開前半で、ふるさとのよさについて考える際、P10の〔書き込み〕などを活用する。

P46 今金町立今金中学校の実践参照

・展開前半で、地域のためにできることについて考える際、P10の〔書き込み〕などを活用する。

P52 本別町立勇足中学校の実践参照

各教科等

- 「音楽」内容B鑑賞(1)ウ 我が国や郷土の伝統文化音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。

・展開で、郷土の伝統音楽が影響を受けた風土や文化・歴史などについて考える際、P10の〔書き込み〕などを活用する。

- 「総合的な学習の時間」 地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動

・展開で、北海道の伝統や文化のよさを振り返る際、P11の〔写真〕、〔吹き出し〕などを活用する。

P41 様似町立様似中学校の実践参照

家庭や地域との連携

・地域の先人などの講話で、地域によさについて考える際、P10の〔書き込み〕などを活用する。

P48 共和町立共和中学校の実践参照

・家庭で、地域や北海道のよさ、地域の発展に尽くした先人の業績などについて子どもと話し合うよう、学級通信等にP11、12の〔写真〕や〔吹き出し〕を紹介するなどして働きかける。

【「私たちの道徳」と関連を図った効果的な活用例】

「私たちの道徳」P200〔ふるさとの発展のために〕で、北海道の風土や文化・歴史のよさについて考える際、「おもてなしハンドブック」P11、P12も活用する。

◆「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう（P13）◆

「おもてなしハンドブック」を使って学んだことをまとめましょう。

1年生

○ 学んだこと

.....

.....

.....

2年生

○ 学んだこと

.....

.....

.....

3年生

○ 学んだこと

.....

.....

.....

1 指導の留意点

このページは、「おもてなしの心」について考えたり、話し合ったりしたことを振り返るページです。
 自己の生き方を深く考えることができるよう、計画的に書き込ませるとともに、自己の成長を実感することができるよう、書いたことを振り返る機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・導入や終末で、自己の成長を振り返る際、活用する。

各教科等

- ・特別活動等で、「挨拶・礼儀」「思いやり」「ふるさと」について学習したことを振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・保護者に、子どもの頑張りを認める内容などを記入していただく。

◆自分の生活をふりかえってみましょう（P14）◆

自分の生活を振り返ってみましょう

○～よくできた △～だいたいできた ×～あまりできなかった

項目	チェックポイント	1年	2年	3年
あいさつ	家族や友だち、地域の人に気持ちのよいあいさつをしていますか。			
	家族や友だち、地域の人に笑顔で接していますか。			
礼儀	時間を守っていますか。			
	相手の話を最後まで聞いていますか。			
	身だしなみを整えていますか。			
	マナーに気を付けて食事をしていますか。			
思いやり	相手を敬うときにふざかしい言葉づかいをしていますか。			
	だれに対しても思いやりの心をもって接していますか。			
私たちのふるさと	相手の立場に立って、思いやりの心を伝えていきますか。			
	自分の地域のよさを見つけ、伝えていきますか。			
	北海道のよさを見つけ、伝えていきますか。			

学校名 _____ 中学校

名 前 _____

1 指導の留意点

このページは、「挨拶・礼儀」「思いやり」「私たちのふるさと」などの観点で、自分の行動などを振り返るページです。
 自己の成長を実感することができるよう、定期的な自己評価する機会を設けることが大切です。

2 活用場面例

道徳の時間

- ・導入や終末で、自分の行動などを振り返る際、活用する。

各教科等

- ・特別活動（学級活動）の基本的な生活習慣の形成に関する学習で、自分の行動を振り返る際、活用する。

家庭や地域との連携

- ・保護者懇談会等で、「おもてなしハンドブック」を持ち寄り、このページを見ながら子どもの成長等を確認する。